

# センター校との連携のある仕事の一覧

文責: 東 武大 (京都大学)

2001年9月5日

以下のリストは、2002年度の各役職校の皆様の仕事の中で、センター校との連携のある仕事を(既に済んだものも含めて)まとめたものです。これは、あくまでセンター校と他の役職校の皆様の連携、即ち今後センター校が皆様をお願いしていく仕事のみをまとめたものであって、センター校の直接関与しない、他の役職校間の連携については記述しておりませんので、ご注意下さい。また、今後の状況次第ではここに挙げた以外にも皆様に仕事をお願いする局面が生じうることもあります。また、ここに挙げたスケジュールはあくまで大まかな目安に過ぎないことも念頭においてください。

あくまでこれは主な仕事を大まかに列挙したものに過ぎませんので、各々の仕事の詳細についてはSS2002における連絡を必ずご参照下さい。

予算案提出: 8月下旬~9月上旬

秋の学会の総会で、夏の学校の予算案について決議する必要があります。これは、センター校が今後の予算編成を決定していくだけではなく、秋の学会における素粒子論グループを始めとする援助団体に対する活動報告及び援助申請においても必要なものです。

また、この予算案については、後述するように修正案を春の学会のときに受け付けますので、予算編成に変更が生じたときにはそのときにセンター校まで提出をお願いします。

講師選定の手続き:10月~11月中旬

基研に対する援助申請を行なうために、11月下旬頃に「共同利用研究計画書」を基研に提出する必要があります。そこに2002年度夏の学校の講義について記入する欄がありますので、以下の事柄を提出して頂きます。

- 講師名
- 講義のタイトル
- 講義のアブストラクト

ですから、講師を選定する際には10月下旬辺りには目星をつけておいて下さい。

また、「共同利用研究計画書」には、各役職校の代表者一名のお名前を「世話人」として記載させていただきますので、ご了承下さい。

修正予算案の提出:2月中旬~3月上旬

秋の学会の段階で提出した予算案から、各々の役職校の予算計画が変更した場合は、春の学会において修正予算案を受け付けますので、必要があればセンター校まで提出をお願いします。

必要経費の振り込み:5月下旬

それぞれの役職校に必要な運営経費をセンター校から振り込みますので、センター校まで必要経費および口座をお知らせ下さい。「全く経費を必要としない」という場合でも、その旨はお伝え下さい。

夏の学校の活動報告における暫定的決算報告:6月下旬~7月上旬

夏の学校の三者総会の議案として、暫定的な決算報告を行ないますので、現時点における決算の見積もりを報告してください。

決算報告:夏の学校終了後:8月中旬

来年度の秋の学会の議案として、決算報告を行ないますので、各々の役職校の最終決算の報告をお願い致します。また、その際に残金があればセンター校の口座に返還してください。

最後に、来年度の引き継ぎについての注意

2002,2003年度の秋の学会について、2002年度の役職校の皆様にご留意して頂きたいことがあります。日本物理学会のホームページにも書いてあるとおり、2002,2003年度の秋の学会は今年以上に日程が早くなっています。

- 立教大学池袋キャンパス・2002/9/13(金) - 16(月)
- 宮崎ワールドコンベンションセンター「サミット」(宮崎市)・2003/9/9(火) - 12(金)

来年度の役職校に引き継ぐ際には、夏の学校が終わってから秋の学会を迎えるまでの日数が今年以上に厳しく限られていますので、早めに引き継ぎをしっかりと行なって頂きたいと考えます。